

平成 30 年度

県立図書館アクションプラン

1 運営方針

県民の生涯学習に対するニーズに広く応えるよう図書館機能の充実を図ります。

- ・ 調査研究のための図書館

資料や情報の提供、書誌の作成等を行い、生涯学習のための図書へのアクセスの向上に努めるなど、情報化を推進します。

- ・ 図書館のための図書館

市町村や学校の図書館等を支援するとともに、関係機関と緊密に連携し、市町村等の図書館を通じて県民の利用ニーズに応えます。

- ・ 保存のための図書館

一般図書、郷土資料・新聞・雑誌等を広く収集・整理・保存するとともに、貴重な資料等を活用したふるさと教育を一層推進します。



2 特色

県立図書館は、県民の情報センターとして、県民の「読みたい、知りたい、調べたい」ニーズに応え、資料収集や情報提供に力を入れています。どこでも十分な図書館サービスが受けられるよう、相互貸借や横断検索などにより、市町村立図書館等をサポートしています。また、郷土関係資料を整備するなど、資料収集方針に基づき、蔵書資料の充実に努めています。

人口規模相応の水準ではインターネット検索、相互貸借、レファレンスは高く、利用者数、貸出冊数、蔵書冊数は水準相応です。全体の職員数は水準より少なく、限られた職員で効率的に運営し、レファレンス、県内図書館支援等のサービスが充実しています。

3 現状

平成 29 年度末現在、蔵書冊数 959,681 冊、このうち郷土資料は 168,090 冊、特設文庫 38,460 冊を所蔵する県立図書館です。

蔵書検索(WebOPAC)を含む利用者数は 1,110,488 人で 6.4%減少、県内外図書館への貸出借受冊数は 24,182 冊で、2.7%増加しています。貸出冊数は 170,410 冊で、対前年度 8.1%減少しています。なお、調査相談件数は 12,833 件で対前年度*34.3%減少しています(*H29.1 の相互貸借システム改修に伴い、県立図書館における相互貸借資料斡旋がなくなったことによる)。

4 重点目標

社会の変化に対応し、県立図書館の中長期的なあり方を検討し、県民の課題解決に寄与することを通じて地域文化の振興に貢献するとともに、学校教育を支援し、家庭教育の向上に寄与する図書館づくりを進めます。

以下の 3 つの観点から図書館に係る重点事項に取り組みます。

(1) 魅力向上と業務効率化

(2) 地域情報発信と情報化

(3) 学校教育への支援、関係機関等との連携とネットワークの構築

5 重点事項

(1) 魅力向上と業務効率化

- ・富山県の歴史、文化、自然などへの理解を深めるために役立つ資料を県内各機関から広く収集します。また、増大する電子版行政資料の収集・提供に努めます。
- ・レファレンスサービスを充実し、利用者に満足してもらえる資料や情報を提供していきます。さらに、ビジネス情報や社会生活に必要な情報に手軽に接することができるよう、雑誌スポンサー制度を充実します。
- ・高度な図書館サービスを目指し、各種研修会への参加を通じて、図書館職員の資質の向上を図ります。また、実践的な研修の機会を提供して、県内図書館支援を強化します。
- ・アクションプランを毎年見直し、県立図書館の中長期のあり方を図書館内で検討します。

(2) 地域情報発信と情報化

- ・地域研究やふるさと教育を推進するため、富山県に関する企画展示を定期的に行います。また、それらに関する文献リストやパスファインダーを作成し、県民に提供します。
*パスファインダーとは、あるテーマに関する資料や情報を探すための手段を紹介するもの。
- ・広く県民に情報発信するため、SNS (Twitter など) を活用した広報を推進します。
- ・郷土に関するレファレンスデータを蓄積し、地域情報の共有化を図ります。
- ・図書館見学ツアーや図書館活用セミナーなどを実施し、図書館利用の普及啓発を行います。

(3) 学校教育への支援、関係機関等との連携とネットワークの構築

- ・高志の国文学館での図書受渡サービスを継続し、利用者の利便性向上を目指します。
- ・ふるさととやま 100 冊の本をはじめとして、県立学校等図書館への団体貸出を推進します。
- ・公共図書館間及び高等教育機関との連携を強化し、遠隔地利用者の利便性向上や広域的な相互貸借の充実を図ります。
- ・大学図書館と連携して「富山ビギナー講座」などに協力し、図書館の魅力を発信します。
- ・県議会図書室と連携し、行政機関が求める資料や情報の提供に努めます。
- ・講演会や企画展示・雑誌スポンサー制度等を通じて、関係機関や企業との連携を図ります。
- ・図書館見学・14 歳の挑戦・図書館実習等を受け入れ、図書館における学びを支援します。

6 参考指標

*インターネットによる蔵書検索

指標名及び指標の説明	27 年度	28 年度	29 年度
利用者数 来館者及び*WebOPAC、電話・文書を含めた利用者数	1,044,566	1,186,511	1,110,488
貸出総冊数 個人・図書館への貸出、団体貸出を含めた冊数	206,353	185,439	170,410
レファレンス件数※ 調査相談の件数	20,361	19,535	12,833
横断検索件数 県内図書館蔵書横断検索システム利用件数	202,130	188,915	193,157
郷土資料アクセス件数 郷土資料情報データベースのアクセス件数	4,653	3,972	5,524
催事件数 企画展示・講演会・研修会等の開催回数	51	38	42

※従来レファレンス件数には相互貸借資料斡旋のための所蔵調査件数を含んでいたが、平成 29 年 1 月に相互貸借システムを改修し、県立図書館による相互貸借資料斡旋がなくなったため、29 年度のレファレンス件数は減少した。